

ハワイと長崎をつなぐ～オンラインハワイ平和探究～

3月30日（水）31日（木）の2日間、高1の20名がハワイ大学の先生から「平和」についての講義を受けるとともに、ハワイの高校生や大学生と「平和」についてディスカッションを行うなどして、教養を深めました。

今回の「ハワイ平和探究プログラム」は、グローバルリーダーを育成するための教育プログラムで実績のある株式会社 LbE JAPAN・LbE HAWAII と、本校との共同開発によって、オンラインで実施されました。

1日目

まず本校生徒が長崎東高校を外国人リーダーに英語で紹介したあと、5人1グループに分かれ、自己紹介や平和に関して今思っていることなどを対話しました。その後、ホセ・バルゾーラ先生による講義を受講しました。先生はハワイ大学マノア校のマツナガ平和・紛争解決研究所の教育専門家および教員、Ceeds of Peace の平和教育者、Institute for Climate and Peace のプログラムアドバイザー、平和構築者の育成と支援を行う地元非営利団体 Conflict Resolution Alliance の理事会役員を務めており、長崎大学と共同でプログラムを実施したこともあります。英語によるハイレベルな講義に、生徒は懸命に聴き入っていました。

2日目

ハワイのバーチャルツアーを実施し、ハワイの持続可能なコミュニティづくりについて学びました。ハワイの海ゴミの実態や、落書きを利用してアート街へと転化させた取組など、リアルタイムでSDGsにつながるハワイの取組について学びました。その後「平和」



ホセ先生の平和に関する講義

をテーマに、ハワイの高校生や大学生とともにディスカッションを行い、最後に、参加者20名全員が「自らの考える平和」について英語でスピーチを行いました。

参加者生徒からは、「ハワイの様々な持続可能な取組について学べ、まるでハワイに行っているかのような感覚だった」「ハイレベルな講義を受け、自身の英語力や平和についての知識をさらに身に付ける必要を感じた」「ハワイの高校生が『ヒバクシャ』という言葉は初めて聞いたと言ってくれ、真剣に話を聴いてくれた。平和を想う気持ちと同じだと感じる事ができてよかった」などの感想があり、達成感と新たな目標を得た貴重な2日間となりました。



自らの考える「平和」を参加者全員が発表



ハワイの高校生・大学生とディスカッション

